

秘
農林水産省

4 7 3 1

指標コード							
年産	都道府県	地域セン ター等	市区町村	旧市 区町村	農業集落	調査区	経営体
2 0	:	:	:	:	:	:	:

← ← ← 入力方向



統計法に基づく国の  
統計調査です。調査  
票情報の秘密の保護  
政府統計 に万全を期します。

## 平成 年産 特定作物統計調査 豆類・そば収穫量調査 郵送調査票(経営体用) ( ○ ○ 用 )

この調査は、農林水産省が統計法（平成19年法律第53号）第19条第1項の規定に基づき一般統計調査として実施するものです。

記入する前に、「調査票の記入の仕方」をご覧ください。

なお、この調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことは絶対ありませんので、ありのままを記入してください。

記入していただいた調査票は、月 日まで同封の封筒に入れて返送してください。

☆ 調査票の記入に当たっては、鉛筆又はボールペンではっきりと記入してください。

☆ 調査及び調査票の記入に当たって、不明な点等ありましたら、下記の「問い合わせ先」にお問い合わせください。

### 【問い合わせ先】

名 称 \_\_\_\_\_

住 所 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_ F A X 番号 \_\_\_\_\_

# 【1】 生産の状況について

1 本年の作付状況について教えてください。  
(該当する欄に○印を記入してください。)

- 1 本年、小豆の作付けを行った
- 2 本年、小豆の作付けを行わなかった

【3】 その他に進んでください。

2 1で作付けを行ったとお答えの場合は、本年産の作付面積、収穫量、出荷量及び自家消費等について記入してください。

**記入上の注意**

自家消費を含めたすべての作付面積を記入してください。  
子実の生産を目的として作付けしたものの面積とし、「さやいんげん」など、野菜として収穫するものは除いてください。

農協や市場へ出荷したものや、消費者に直接販売したものなど、販売した全ての量を記入してください。  
なお、今後販売する目的で保管しているものも出荷量に含めてください。

自家用、贈答用、翌年産の種子用などに利用するものを記入してください。

	作付面積 ① ha <small>(町) (反) (畝)</small>	収穫量 ②=③+④ kg	出荷量 ③ kg	自家消費等の量 ④ kg

注： 出荷量について、「俵」、「袋」、「t」等で把握されている場合は、「kg」に換算して記入してください。(例：30kg紙袋で150袋出荷した場合→4,500kgと記入)

3 2で記入した出荷量について、該当する出荷先に出荷した割合を記入してください。

**記入上の注意**

- ・ 「消費者へ直接販売」とは、直売所、庭先販売、宅配便、インターネット販売などです。
- ・ 「その他」は、加工業者、消費者へ直接販売、市場、農協以外の集出荷団体及び農協のいずれにも該当しない出荷先の割合を記入してください。なお、〔 〕欄は、その他の出荷のうち、最も多い出荷先を記入してください。

単位：%

	加工業者	直接販売 消費者へ	市場	集出荷 農協以外 の団体	農協	その他 〔 〕	合計
						〔 〕	100%
						〔 〕	100%
						〔 〕	100%

## 【2】 作柄及び被害の状況について

- 1 本年産の作柄・被害の状況は、**前年産に比べて**どうでしたか。  
(それぞれ該当する欄に○印を記入してください。)

	作柄の良否		
	良かった	前年並み	悪かった
	○1	○2	○3
	○1	○2	○3
	○1	○2	○3

	被害の多少		
	少なかった	前年並み	多かった
	○1	○2	○3
	○1	○2	○3
	○1	○2	○3

- 2 被害が多かったとお答えの場合は、その要因について記入してください。  
〔該当するすべての欄に○印を記入してください。  
なお、被害の**最も多かった要因に○印を記入**してください。〕

	高温	低温	日照不足	多雨	少雨	台風	病害	虫害	その他
	○1	○2	○3	○4	○5	○6	○7	○8	○9
	○1	○2	○3	○4	○5	○6	○7	○8	○9
	○1	○2	○3	○4	○5	○6	○7	○8	○9

## 【3】 その他

来年以降の作付予定についてお聞きます。  
(該当するものに○印を記入してください。)

○1	来年以降、小豆の作付けを行う予定がある
○2	来年以降、小豆の作付けを行う予定はない
○3	いまのところ未定である

調査はここで終わりです。同封の封筒にて返送ください。ご協力ありがとうございました。